

日本土壌微生物学会名誉会員推薦書理由書

高井 康雄 東京大学名誉教授 1924年4月10日生まれ

高井康雄氏は、本会の前身である土壌微生物談話会、土壌微生物研究会の発足時の主要メンバーの一人として、第2次大戦後のわが国の土壌微生物研究を牽引してきました。同氏は東京大学農学部において、水田土壌の還元過程に関わる微生物研究を開始し、名古屋大学農学部、東京大学農学部において水田土壌の動態に関わる微生物学的研究を展開してきました。さらに東京大学を定年退職後には東京農業大学において、生態学的・環境科学的視点から土壌微生物研究を進め、新たな研究分野の開拓に尽力してきました。

高井氏は、水田土壌の還元過程を微生物代謝の面から統一的に説明する「逐次還元理論」を構築しました。その成果は水田土壌の微生物研究の基盤的となる重要な発見として、高い学術的評価を受け、その成果に対し、昭和55年度日本農学賞・読売農学賞が授与されています。本理論は、国内外の多くの教科書に記述されるとともに、近年では、水田土壌における温室効果ガス放出や金属元素の動態など農学や環境科学の重要問題を解決するための基盤として、広く活用されています。

以上のように、高井氏は、わが国の水田土壌微生物学の発展に大きく貢献してきました。ご高齢のために、すでに本会を退会されておりますが、本会の前身である土壌微生物談話会、土壌微生物研究会の時代から、半世紀以上にわたって、本会の発展に多大の貢献をされてきましたので、ここに、本会名誉会員に推薦いたします。

2020年5月1日

推薦人

宮下 清貴 日本植物調節剤研究協会 理事長 (会員番号) 1278

犬伏 和之 千葉大学 教授 (会員番号) 1120

齋藤 雅典 東北大学 名誉教授 (会員番号) 1377

